

「令和4年度施策に関する提案」県選出国會議員説明会について

1 開催概要

(1) 日時

令和3年6月2日(水) 8:30~9:45

(2) 出席者

国会議員：

畦元将吾衆議院議員，岸田文雄衆議院議員，小島敏文衆議院議員，
小林史明衆議院議員，齊藤鉄夫衆議院議員，佐藤公治衆議院議員，
新谷正義衆議院議員，寺田稔衆議院議員，平口洋衆議院議員，
宮口治子参議院議員，宮澤洋一参議院議員，森本真治参議院議員，柳田稔参議院議員

広島県：

湯崎知事，中本議長，平川教育長，尾崎危機管理監，坂井総務局長，
松井経営戦略審議官，岡田地域政策局長，新宅環境県民局長，木下健康福祉局長，
川口商工労働局長，佐伯農林水産局長，齋藤土木建築局長，上田都市建築技術審議官，
沖邊企業局長，藤原議会事務局長

2 意見交換の概要

(1) 新型コロナウイルス感染症対策について

質問	自宅療養者が重症化するケースも多発していることから、自宅療養者のケアにおいて、医療機関とのネットワーク化、連携を検討いただきたい。
回答	<ul style="list-style-type: none">・医師会と連携して準備を進めている・具体的には、自宅療養者の医療的ケアが必要になった場合、医師会で電話診療やオンライン診療に対応していただける先生を募って連携をとるといった仕組みを検討している・各地区医師会とも連携して体制を充実させていきたい
質問	全体の8割と言われる民間医療機関の従事者の協力がどれくらいあるか。
回答	<ul style="list-style-type: none">・陽性患者を直接受け入れることができる民間医療機関は限られているが、治療が終わった方を受け入れる、後方支援としても協力してもらっている・宿泊療養施設の運営について、看護師の協力や薬剤師会の協力をいただいている・県内に設置している臨時的医療施設についても、医師や看護師、薬剤師の協力をいただきながら運営をしている

質問	地方創生臨時交付金等の予算の活用状況について
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時交付金は、今年度約71億円の内示があり、これまで15億円を充当 ・6月臨時会で21億円を使うので、残額が35億円になる見込み ・さらに6月定例会で事業者支援や医療提供体制の確保に使う予定で、ほぼぎりぎり ・県の財政調整的基金も昨年度末で200億円だったものが、今現在は70億円ぐらいになっているため、さらなる交付金の配分をお願いしたい ・国で2,000億円ぐらい内示いただいていない部分があるので、機動的に配分していただきたい ・PCR検査で行政検査に当たる場合は、国のお金でカバーできるが、行政検査に当たらない場合は、交付金の用途がある程度指定されているところもあり、結果として一般財源を持ち出すことがあるため、是非柔軟な運用をお願いしたい
質問	<p>ワクチン接種について、身近なかかりつけの医者に打ってもらいたいという声がある。</p> <p>よりきめ細かにそれぞれの地域でワクチンを打てる状況が望ましいと思うが、県民の意識を含めてワクチン接種に関して、どういうふうに認識して今後の取組を進めようとしているのか。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の接種状況はそれぞれバラバラで、各市町の課題の洗い出しをお願いしている ・特に広島市では、集団接種に少し空きがあって、接種券の配付のスピードを早めていくようにすると聞いている ・加えて、県でも大規模接種会場の設置を検討しており、接種の機会を確保していきたい
質問	今までの1年2、3カ月のこれまでのコロナ対応の県の総括を伺う。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・経済とどう両立させていくかが非常に大きな課題だったと思う ・我々は一時的に経済を止めても厳しい対応で短期間に終わらせる方が結果的には経済にはプラスになるのではないかと考えてきたが、なかなかそうならず、非常に大きな経済的影響を受けている
質問	広島県のPCR検査への取組は大変注目を集めていて、高く評価しているが、検査の取組について、現状と今後の予定を伺う。
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・幾つか設置しているPCRセンターを継続し、引き続き幅広いモニタリング検査を行っていく ・下降局面に波が来ており、いわゆる人流対策のような時短要請や休業要請の期間を短くするために、検査を上手く使えるのではないかと考えている ・積極的な検査の手法について、どこをターゲットにするかを含めて検討している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・集団免疫を獲得するまでは時間がかかると思うので、その間は検査についてもしっかり取り組んでいきたい
質問	<p>基金残高が 70 億円まで減っていることが、どれくらい危機的な状況か、その評価を伺う。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・目標として最低 100 億円を持っておきたいと考えている ・災害が起きた際に、これまでの経験から言って、途端に支出しなければならない規模というのが最低限 100 億円ぐらい ・我々は国と違って、赤字県債を発行できず、どうしてもキャッシュを持っておく必要があって、今はそれを割り込んでいる状態 ・そういう意味では非常に厳しい財政状況にあり、今年さらに一般財源をコロナに使うとなると、さらに減っていくおそれもあって、そこに災害が来ると、我々完全に首が回らなくなる

(2) カーボンリサイクル技術に係る実証研究拠点整備の加速について

質問	<p>大崎上島の施設で実証実験に入って長い期間が経っているが、実証に既に入っているのに、国でほとんど話題が出てこない。県としての認識をもう少し詳しくお願いしたい。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島での I G C C の実証は計画通り順調に進んでおり、商用化することが大事だ ・I G C C のコスト削減を実現し、分離した二酸化炭素を燃料や化学製品等にするカーボンリサイクル技術と併せて、パッケージとして産業化することが、東南アジア等石炭を引き続きエネルギーとして使わないといけな地域にとって重要になると考えている ・また、カーボンリサイクルについて、国において大きな絵姿として 2050 年までの長期ロードマップが作られ、またその拠点の中心を大崎上島とし進めていくという方針が示されていることは広島県にとって優位性があることだと考えている ・カーボンリサイクルのビジネス化や製品化は時間がかかるものであり、長期的な取組として考えていかなければならない ・様々な企業に取組に参加してもらうとともに、広島に拠点を移していただけるような取組を行うことで、環境エネルギー産業の集積を進めたい ・産業振興のみならず、地域振興につながることになるので、市町とも連携して、広島県の発展に生かしていきたい

質問	<p>カーボンニュートラルを進める上で、県民生活や地域経済への影響を考える必要があり、製造業の皆さんの不安の声をよく聞く。</p> <p>一義的には、国の方でしっかりと支援をしないといけないと思うが、特に広島県の場合はものづくりの県であるため、県としても製造業に与える影響をどう考えているのか、県として独自の支援を考えているのか。</p> <p>また、県として排出量取引について独自の対策を考えているのか。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり産業が集積している県であるため、実現に向けた影響は非常に大きいと認識しており、いまから対応していかなければならないということで検討に着手している企業もある ・産業界、地域経済へ大きな影響を与える課題でもあるので、企業の皆さんの声を聴きながら行政として、どういった支援ができるか丁寧に対応していく必要があると考えている ・排出量取引については、まだ具体的に検討の俎上にはあがっていないが、今後において、検討していく必要性については認識している
質問	<p>広島大学が「カーボンニュートラル×スマートキャンパス5.0」の宣言をして、国の2050年までにカーボンニュートラルを実現するとしている取組を2030年までにやるということで、委員会などでも広島大学の名前が出ている。太陽熱や地熱を使ったりするなど聞いているが、県の支援の実態と今後の予定について伺う。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、広島大学への具体的な支援の話はないが、広島大学には、学生や問題意識を持っている方々がたくさんいるため、一緒に連携しながら取り組んでいきたいと意見を交わしたところ ・県としても温暖化防止対策の目標を掲げ取組を進めており、一緒に機運醸成していきたい
質問	<p>カーボンニュートラルの一つの柱である森林対策について、日本の山が老いてきているが、森林県である広島として、国と一緒にやる必要があるのではないか。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・40万m³の木材を継続的に生産していくことを目標に進めていて、それはほぼ達成できそうな状況 ・林業経営に適さない森林については、針葉樹と広葉樹が混在した森林に戻していくため、森づくり県民税も活用しながら、公益的機能の維持発揮に向けて、森林整備を進めている
質問	<p>原子力をどう考えるかということが国会の中でも大きな議論になっている。我々の立場は、少なくとも再稼働については安全性を確かめて、しっかりそれを地元の了解を得て進めていくということであるが、中国地方では立地県である島根だけでなく、最大消費地である広島県として、どう考えているかということを表示することも一つの支援策となると思う。</p>

回答	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県は電力を使う立場。県内に立地をしていないということもあって、立地問題について或いは原子力の利用問題について、態度を出しにくい立場であるということをご理解いただきたい
----	--

(3) 「黒い雨地域」の早期拡大等について

質問	<p>新たな検証提案も出されて多少時間を要しているが、高裁判決が来月出る。手帳交付の問題や、財政支援の問題などの早期解決に向けて強力に取り組んでまいりたい。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・黒い雨体験者の高齢化が進んでいるので、地域の拡大の検討については、急いでいただければ大変助かる ・財源確保についても引き続きお願いできればと思う
質問	<p>黒い雨地域の拡大について、検討会の進行具合が遅いのではという話があったが、具体的に懸念している点はどこか。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・色々と科学的調査を行うことに一定の意義はあると思うが、最終的には政治的な判断である ・黒い雨を浴びているということの事実はあると思うので、早く結論を出して、被爆者（黒い雨体験者）を救うということを政治的に決めていただきたい ・とにかく調査に時間がかかって、被爆者が一人また一人と亡くなっていくのだけは避けたい

(4) その他

質問	<p>標準化法が可決して、標準化対象の共通基盤に入る部分と自治体独自の部分の区分けを行っていただく必要があるかと思うが、広島県の場合、基幹 17 業務についての共通基盤化を目指しているという理解でよいか。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・住民生活に直結する基幹系 17 業務に関して共通基盤化を目指している
質問	<p>農林水産について項目が少ないが、県の考えを伺う。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり中期的には、DXを導入することが非常に重要で、それから経営力を向上させることが重要だと思っているのでそれについて力を入れて取り組んでいるところ
質問	<p>被服支廠について、県の考えを伺う。</p>
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化の費用がかなり低いことが判明したので、喫緊の課題である耐震化は、とにかく3棟行う ・できれば国所有の4号棟も耐震化を実施していただいて、建物4棟全てを行うということで、その間も含めて利活用の方策については、どうしても色んな意見があって時間がかかるため、しっかりと議論しながら、最終的な保存棟数であるとか、利活用の内容を決めていきたい